食料科学委員会畜産学分科会（第24期・第2回）議事録要旨

1. 日 時 平成30年3月30日（金）12:00～14:00

2. 場 所 東京大学農学部フードサイエンス棟2階中島ホール
〒113-8657東京都文京区弥生1-1-1

3. 出 席 眞鍋昇（二部会員）、足立吉数、枝重圭祐、小澤壮行、
柏崎直巳、木村直子、東村博子、遠野雅徳、梅村恭子、
吉澤緑（連携会員）
渡邊誠喜（参考人・日本畜産学アカデミー会長）
欠 席 佐藤英明（連携会員）

4. 議事

（1）定足数の確認：10名が出席し、分科会は成立した。

（2）前回（第24期・第1回会議）の議事録要旨案の承認
第24期第1回分科会の議事録要旨案を確認後、承認した。

（3）第24期活動についての報告（眞鍋昇委員長より）

A. 畜産学分科会に係わる活動報告

- ・第1回分科会で、幹事に推薦することとなった特任連携会員 永井卓氏（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構）は、2月開催の幹事会にて承認された。
- ・平成30年度本分科会開催計画を資料の通り提出した（日程調整の上7月、9月、12月、翌年2月、3月に開催予定）。
- ・平成30年3月30日に日本畜産学会第124回大会（東京大学）会期中に、日本畜産学会、本分科会ならびに畜産学アカデミー共催で公開シンポジウム「畜産物の質的保証：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」が開催された。

B. 日本畜産学アカデミーに係わる活動

- ・日本畜産学会第124回大会（東京大学）会期中の平成30年3月30日に第5回日本畜産学アカデミー総会を開催し、事業報告ならびに決算報告ほか、1）規約改正、2）新会員の推薦、3）新役員の選出などについて、審議を行う予定。

（4）公開講演会・シンポジウムの共催等などについて

- ・ 梶村委員より、3月に日本草地学会より、第7回日中韓草地会議（平成30年7月8～10日、北海道大学）への日本学術会議後援の申請手続きを行った旨の報告があった。
- ・ 日本畜産学会第125回大会（平成31年3月開催予定、麻生大学）においても、本分科会主催あるいは共催での公開シンポジウムを検討することとなった。

審議事項

（1）本分科会主催の公開シンポジウムの企画について

眞鍋委員長より、平成30年度内に、本分科会主催、日本畜産学会や中央畜産会などと共催する形で、日本学術会議講堂で一般公開シンポジウムを開催する旨の提案があった。具体的なテーマならびに講演者について、今後具体的に検討することとなった。テーマとして「静かに進行する食糧危機：持続可能な畜産物生産のための科学と技術」はどうかなど、意見交換がなされた。

（2）教科書（朝倉農学体系）の作成について

眞鍋委員長より、農学の基礎的・中心的科目について、基礎から最先端の内容を解説する教科書（出版元：朝倉書店）作りが始まることが報告され、概要についての説明があった。畜産学領域は、眞鍋委員長が編集を担当し、可能な限り新領域（衛生管理、自給飼料、エコフィードなど）を盛り込む方向、今後必要に応じて協力頂きたい旨の話があった。

（3）第24期の活動について

1）眞鍋委員長より、第24期の活動の一つとして、過去に本分科会が主催した公開シンポジウムの要旨などをまとめ、日本学術会議に「記録」として提出することが提案された。今後、記録範囲などについて整理し、検討していくこととなった。

2）学協会との一層の連携充実（シンポジウム・フォーラムなどの共同開催の推進）

- ・ 畜産学会、草地学会、家禽学会、養豚学会などの畜産関連学会の理事会等で、日本学術会議の動向、本分科会の活動などを定期的に報告し、情報共

有をすることで、これまで以上に相乗的に双方の活動が発展するのではないか、などの意見交換がなされた。

- ・畜産関連団体（養豚協会、地方競馬会など）と連携（スポンサー委託）し、公開シンポジウムの開催などを活発化することで、畜産関連業界と畜産関連学会ならびに本分科会との情報交流を深める、また畜産領域のアウトリーチ活動を促進する、などの意見交換がなされた。

3) 畜産学の学術分野における一層の国際化の推進

A A A P（アジア・大洋州畜産学会議）やW C A P（世界畜産会議）、I C A R（国際家畜繁殖学会）などの国際学会が日本で開催された場合、本分科会も後援サポートをする形で、国際シンポジウムの共同開催などを今後検討する、などの意見交換がなされた。

4) その他

国際化、女性および若手研究者の一層の充実と活躍を推進することなどが確認された。

(4) 日本畜産学アカデミーの活動について

現在、日本畜産学アカデミーの活動の活性化や安定化について、会長も交えて意見交換を行った。

(5) その他

次回第3回分科会は、平成30年7～9月の間で日程調整し、日本学会議で開催することを確認した。

配布資料：

日本学会議畜産学分科会（第24期・第1回）議事次第

資料1：畜産学分科会第24期・第1回会議議事録要旨案

資料2：第24期会議開催計画表（平成30年度分）

資料3：特任連携会員案

資料4：公開シンポジウム「畜産物の質的保証：2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて」のポスター

資料5：第7回日本・中国・韓国合同草地学会議の後援申請書類一式

資料6：平成30年度開催予定本分科会主催公開シンポジウム企画案

資料7：朝倉農学体系の企画案

資料 8 : 平成 2 2 年度 日本学術会議より発出された記録「畜産学の果たす役割（食肉、乳、卵、蜂蜜）」の表紙

参考資料 1 : 第 2 4 期食料科学委員会・畜産学分科会名簿

本委員会にあたっては、以下の職員が事務を担当した。

山石あや参事官（審議第一担当）付審議専門職（平成 2 8 年 4 月から）

以上